

**2019年3月期決算に関するご回答**

貴会よりご質問の事項につき、下記の通り回答致します。

## 記

## I. 共通質問事項

## ① ドル/円想定レート及び連結純利益への感応度

(単位：円)	2019年3月期（実績）	2020年3月期（予想）
ドル/円レート	110.92	110.00

連結純利益への感応度：1円/US\$の円安（円高）で、約10億円の増益（減益）

## ② 2019年3月期の投融資実績

・国内外再生可能エネルギー発電事業	約370億円
・SCSK 金融向けシステム開発・システム検証会社 完全子会社化	約190億円
・SCSK 設備投資等	約160億円
・チリ銅鉱山事業 ケブラダ・ブランカ権益取得 及び 資金拠出	約180億円
・米国オフィスビル取得	約150億円

## ③ 主な黒字会社、主な赤字会社

## ・主な黒字会社

(単位：億円)

会社名	2018年3月期	2019年3月期
ジュピターテレコム	356	338
三井住友ファイナンス&リース	348	318
豪州石炭事業会社	101	205
ボリビア銀・亜鉛・鉛事業会社	278	195
ORESTEEL INVESTMENTS	154	162

## ・主な赤字会社

(単位：億円)

会社名	2018年3月期	2019年3月期
マダガスカルニッケル事業会社	△141	△403
チリ銅・モリブデン鉱山事業会社	△8	△29
FYFFES	1	△29

\* その他、連結業績に与える影響が大きい会社につきましては、決算発表プレゼンテーション資料のAppendix「セグメント別業績概要」をご参照下さい。

④ 連結純利益に占める資源事業と非資源事業の割合

(単位：億円)	2018年3月期	2019年3月期
資源事業 *1	600 (19%)	485 (15%)
非資源事業 *2	2,485 (81%)	2,721 (85%)
全社	3,085	3,205

\*1 「資源第一本部」、「資源第二本部」、「エネルギー本部」の連結純損益の合計

\*2 全社連結純損益と資源事業の差引

II. 追加質問事項

① 原油・ガス持分生産量（実績）

(単位：百万 bbl/年)	2018年3月期	2019年3月期
持分生産量	2.6	2.4

以 上